

みなさん、おはようございます。令和8年4月6日(月)、令和8年度1学期がはじまります。

今日から新しい学年となり、3年生は将来を決定づける大切な年、2年生は自分の夢を思い描き、実現のための実力を養う年となります。夢実現のため、頑張りたいと思っています。

昨年度、3年生の面接練習をしていく中で、志望理由を「働く又は学ぶ環境が良いので選びました」で終わらせてしまう人が何人もいました。それではもったいない、と思っています。確かに、企業や学校を選ぶときには、皆さんは選ぶ側です。給料がよく、週2日はお休みができ、上司も同僚も優しく残業もなく、必要な手当ても充実している、といった企業で働きたいと思いますよね。当然です。ただ、皆さんがそう思うことは、他の大勢の人も同じように思っているので希望者は殺到します。企業や学校に選んでもらうには、まずは、高校時代の取り組みをしっかりとやること、高校時代に何を頑張り、その力を生かして入学後や入社後にどう頑張るのかを説明できることが必要です。皆さんは、高校時代に頑張ったことが胸を張って言えますか。

その取り組みの中で、対話力を身につけて欲しいと思っています。

対話力の第一歩にあいさつがあることについては、3学期終業式でお話をしました。今日は、そこから先に一歩進み、「話を正しく聞く」力を身につけて欲しいと思っています。「正しく聞く」というのは、ただ音を聞くだけでなく、相手が何を言おうとしているのか、何を伝えたいのか、その意図を考え、要約しながら受け取ることが大切です。自分の都合で聞くことや、「わかったつもり」「それ知っている」との勝手な判断は、聞いているようで聞いている状態であり、本当に大切なことを聞き逃します。

私の教え子で、高校卒業後、就職した会社で、小さなメモ帳をつねにポケットに入れておき、先輩からの説明をメモに取っていた生徒がいました。入社半年の間にすでに10冊。「なぜメモを取っているのか」と聞くと、「正しく聞ける。何度も先輩に説明させてしまうのは悪いし効率的ではない。早く仕事を覚えたい。メモを取っておくと忘れてしまってもあとから見返すことができる。」と言いました。その生徒は、数年後には大卒も含め他の同期よりいち早くグループリーダーに抜擢されました。

授業でも、人間関係でも、そしてこれからの皆さんの進路先でも、「聞く力がある人」は伸びていきます。逆に、「わかったつもり」で流す人はどこかで必ず行き詰ります。だからこそ、その場でその場で相手を理解しようとして聞くことが大切です。その力を養うことができるのは、授業です。この4月から、教室に「授業を大切にしよう」というルールが各教室に掲示されます。「あいさつをする」、「教材等の準備をして備える」、「私語、他事をせ

ず真面目に聞く」、「ノートを取る」といった当たり前の正しい姿勢を示しています。授業を通して身につけた力は、皆さんの将来の力になることには間違いありません。

令和8年度も、皆さんが明るく元気に楽しい学校生活を送ってくれることを期待しています。